

特 定 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部等名〔外国語教育研究センター〕

プログラムの名称	(和文) 英語プロフェッショナル養成特定プログラム
	(英文) Building Professional English Skills
1. 概要	専門的な内容を英語で理解・発表するための高度な英語運用能力を養成することによって、国際的な研究者や高度専門職業人として必要となる資質を身に付けさせる。 目標とする英語運用能力の水準は、聞くことと読むことにおいてはTOEIC®における730点レベル以上を目標とする。話すことと書くことについては、自然な速さより少しスピードを緩めたディスカッション・原稿の作成段階を含むプレゼンテーション・場面や目的に応じた表現の選択・誤りが少なく情報のわかりやすい文章構成、などができるレベルを目指す。
2. 到達目標	・ TOEIC®テスト 730 点レベル以上の英語力 ・ 専門的な語彙が多く含まれない場合に、自然な速さの英語を聞いて理解する能力。 ・ 自然な英語よりも速度を少し緩め、語彙を少し簡略にした場合に、英語によるプレゼンテーションやディスカッションができる能力
3. 登録時期	3 セメスター以降を履修開始時期とし、事前にプログラム登録をしておくこと。
4. 登録要件	・ 原則として 1・2 セメスター開設の英語科目 4 単位を修得しておくこと。 ・ TOEIC®テストで500点程度の能力がある者が望ましいが、英語運用能力の向上に意欲的な者については特に問わない。
5. 受入上限数	25 人を上限とする。 プログラム登録上限数25名を超える希望者があった場合は、書類審査に加えて、特定プログラム登録許可願提出後の2月中旬から3月上旬にかけ、面接審査（英語を含む）を行う場合があるので、「Myもみじ」による呼出に注意すること。
6. 授業科目及び授業内容	※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。
7. 修了要件	別紙の履修表に示す要修得単位を満たすことを原則とする。 ただし、3 年次終了時以降において、4 年次の時間割の重複等により残り 1 年間で残りの全ての授業科目の履修が困難である場合は、TOEIC®公開テスト又は広島大学が全学一斉実施する TOEIC®IP テスト※で 730 点以上、又は実用英語技能検定試験（英検）準 1 級以上を取得していれば、履修表に示す科目のうち、いずれか 4 科目分として 4 単位を上限として認定する。なお、その際は「特定プログラム」登録後のスコアや取得級（具体的には 2 年次以降に取得したもの）を用いることとし、評価は付さないこと（認定）とする。上記検定

試験等による単位認定を希望する場合は、卒業予定年度の10月末までに合格証等のコピーを添えて申し出ること。(この期限以後の単位認定申請は受理しない。)

※オンライン実施によるテスト結果は単位認定申請に利用することはできない。ただし、広島大学が全学一斉実施したTOEIC(R) IPテストに関しては、試験監督が陪席する指定の場所でのオンライン受験をした場合には、単位認定の対象となる。

8. 責任体制

責任者：外国語教育研究センター	准教授	山内優佳
担当者：外国語教育研究センター	准教授	天野修一
担当者：外国語教育研究センター	准教授	辰己明子
担当者：外国語教育研究センター	准教授	ウォルター・デイヴィス
担当者：外国語教育研究センター	准教授	マーシャル・ヒガ
担当者：外国語教育研究センター	准教授	ダニエル・ホフム
担当者：外国語教育研究センター	助教	ユリア・タナベ
担当者：外国語教育研究センター	助教	山内勝弘

9. 既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

【特定プログラム履修に関する注意事項】

- 主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。
- 特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。
- 登録学生は6セメ以降に受験したTOEIC®スコアを外国語教育研究センターに提出することとする。(学内で全学実施されるTOEIC® IPのスコアでも良い。)